

備前市事務事業評価表

| | | | |
|------------------|----------------------|------------------|-------------|
| 事務事業名 | 訪問介護給付事業 | コード | 02-01-03-15 |
| | | 担当課・係 | 福祉事務所障害者福祉係 |
| | | 担当者 | 田中淳一 |
| 事業実施期間 | 平成18年4月1日～平成19年3月31日 | | |
| 総合計画 事業（政策）体系 | 大項目(基本目標) | 健康でやさしさあふれるまちづくり | |
| | 中項目(基本施策) | やさしさあふれるまちづくり | |
| | 小項目(施策) | 障害者（児）福祉 | |

| | |
|-----------------|--|
| 事業について | |
| 目的 (何のために) | 障害者施策によるホームヘルプサービスを利用して低所得の障害者で、介護保険制度の適用を受けることとなった者に利用者負担の軽減措置を講じることにより、サービスの継続的な利用促進を図る。 |
| 対象 (誰・何を対象に) | 65歳到達以前のおおむね1年間に障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していたものであって、65歳に到達したことで介護保険の対象となった者 特定疾病によって生じた身体上又は精神上の障害が原因で要介護又は要支援の状態となった40歳から64歳までの者 |
| 内容 | 利用者は減額認定証を訪問介護事業者に提示することで利用者負担が7%軽減される。 |

| | | | |
|----------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 事業の結果 | | | |
| 実施項目 | 17年度 | 18年度 | |
| | 回数など (単位) | 回数など (単位) | 回数など (単位) |
| 給付件数 | 84 件 | 45 件 | |
| 事業費 (単位：千円) | 事業費 | 財源 | 事業費 |
| | 直接事業費 311 国庫補助金等 233 | 直接事業費 142 国庫補助金等 106 | 直接事業費 0 国庫補助金等 0 |
| | 人件費 1,500 受益者負担 市債 | 人件費 280 受益者負担 市債 | 人件費 0 受益者負担 市債 |
| | 合計 1,811 一般財源等 1,578 | 合計 422 一般財源等 316 | 合計 0 一般財源等 0 |
| 必要人員 | 0.25 人 | 0.05 人 | |
| 結果指標 | 結果指標名 | 結果指標量 | |
| | 給付件数 | 45 | |
| | 単位 | 件 | |
| | 対前年比 | 53.57% | 0.00% |
| | 活動にかかるコスト | 1,811,000 円 | 422,000 円 |
| | 単位当たりコスト | 21,560 円 | 9,378 円 |
| 結果指標 | 結果指標名 | 結果指標量 | |
| | 給付件数 | 45 | |
| | 単位 | 件 | |
| | 対前年比 | 53.57% | 0.00% |
| | 活動にかかるコスト | 1,811,000 円 | 422,000 円 |
| | 単位当たりコスト | 21,560 円 | 9,378 円 |

| | | | |
|-------------------|--------------|---------|-------|
| 事業の成果 | | | |
| どのような成果を得ようとしているか | 障害者の利用者負担の軽減 | | |
| 成果指標名 | 受給者数 | 式又は説明 | |
| | 17年度 | 18年度 | |
| 成果指標量 | 7 | 7 | |
| 対前年比 | — | 100.00% | 0.00% |
| 到達目標値 | 7 | 到達目標年度 | |

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

| | | | |
|----------------|---|---|--|
| 事務事業の評価 | | | (平成18年度事業) |
| 目的・対象・内容の妥当性評価 | 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 厚生労働省老人保健福祉局長通知 | 妥当性評価<A~E> B |
| | 対象の妥当性 | <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である | 介護保険法施行によりじっしすることとなった事業で、要介護者が必要とする介護サービスを十分に受けられるようにするもの。 |
| | 市民ニーズの妥当性 | <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である | |
| 市の関与の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である | | |
| 効率性の評価 | コストの効率化 | <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である | 効率性評価<A~E> B |
| | 手段の最適化 | <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている | 支払事務については国保連合会へ委託しており、効率的に実施されている。 |
| | 職場の効率化 | <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい | |
| 目的達成度 | <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している | 有効性評価<A~E> B | |
| 有効性の評価 | 成果向上の可能性 | <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある | 課題認識 |
| | 市民参画度 | <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている | 該当者に適正な給付が行われている。 |

| | | | |
|----------|---|--|------------------------------|
| 平成19年度状況 | <input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している | <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 | 説明 |
| 目標値 | 結果指標量 7 | 結果指標量 | 現在の3パーセントの個人負担が6パーセントの負担となる。 |
| 成果指標量 | 受給者数 | | |

| | | |
|------|--|-------------|
| 総合評価 | 法改正直後の利用者負担激変緩和措置であり、新規給付者はない。20年度は廃止の可能性あり。 | 評価区分<A~E> B |
|------|--|-------------|

| | | |
|--------------|--|---|
| 平成20年度以降の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する | <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する |
|--------------|--|---|

| | | | |
|---------------|------|------|--------------|
| 平成20年度以降の改善事項 | | | |
| 評価の視点 | 改善内容 | 改善時期 | 改善により期待される効果 |
| | | | |
| | | | |